

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 30年度

市町村名	川口市				
提案事業名	外国人技能実習生地域コミュニティ創生事業				
事業期間	28年度 ～ 29年度				
成果指標	(成果を検証する指標) 地域との交流会開催回数				
	(成果検証の具体的な方法) 宿泊施設の一部スペースを利用した地域との交流会の開催を企画し開催する。				
	(成果の目標値に対する実績)				達成度 (A) B C
	従前値 (28年1月時点)	0回	目標値 (30年3月時点)	6回	実績値 (30年3月時点) 6回
	(施設建設等の場合の実績)				
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	300人 54人	稼働率 (%)	(目標) (実績)
	住民への公表状況 及び特記事項		宿泊施設が所在する地域の町会長、副会長へ地域住民の交流会参加の周知を依頼した。		

【事業効果の整理・原因分析】

平成29年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 外国人技能実習生地域コミュニティ創生事業	○	第1回：自己紹介、第2回：市産品フェア招待、第3回：マナー講座、第4回：防災訓練、第5回：旧正月を祝う会、第6回：報告会を開催。 第3回から第6回に地域住民が参加している。
②	○ △ ×	
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	実習生からアンケートをとり、票数の多かったマナー講座と防災訓練を実施。旧正月を祝う会に関しても各国の料理を提供し、好評を得た。地域住民の方々と実習生の交流が図ることができ、今後の交流に繋がる会が開催できた。
実施事業について 成果が不十分である点	
成果検証を踏まえた 今後の改善策	

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合

$$\text{実績値} \geq (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合

$$(\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値} \leq \text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合

$$\text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値}$$

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(○・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果○」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない